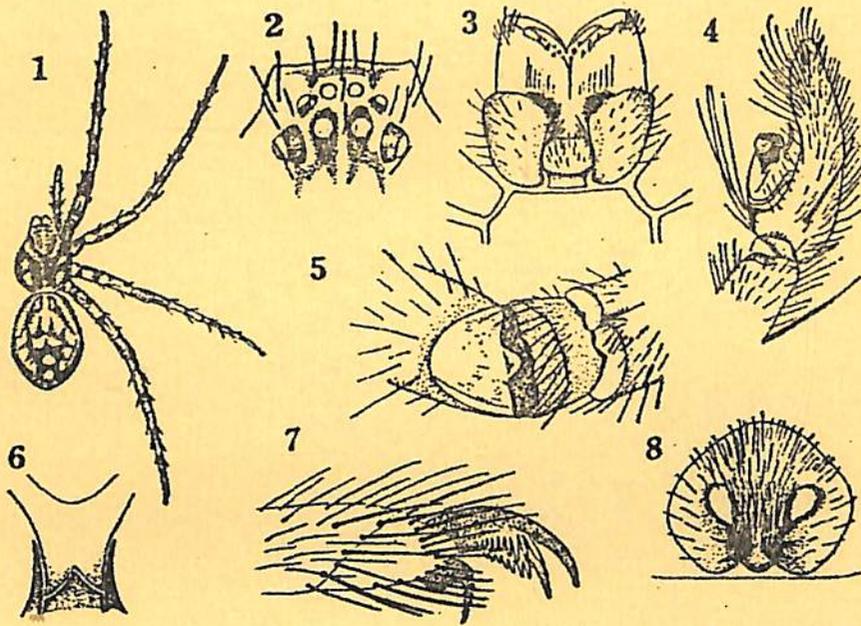


しのびぐも

第 1 4 号



*Cispus orientalis* YAGINUMA

1986

三重クモ談話会

# し の び ぐ も

第 1 4 号

1 9 8 6

---

---

大宮町の真正蜘蛛類 (Ⅱ)	
貝 発 憲 治	1
大川親雄氏のクモ標本同定結果 (Ⅱ)	
三 重 ク モ 談 話 会	12
昭和 61 年度三重クモ談話会採集会報告	
(緒 方 清 人)	18
(貝 発 憲 治)	

---

---

三 重 ク モ 談 話 会

表 紙 説 明

*Cispius orientalis* YAGINUMA

シノビグモ (キシダグモ科)

1965年5月4日、三重県、三重大学平倉演習林 (一志郡美杉村川上) にて、橋本理市氏採集。

新種として記載された。

図は、八木沼健夫氏の御厚意により、ACTA ARACHNOLOGICA Vol. 20 No. 2 より転写したものの。

1. Dorsal view (♀)
2. Eye area (♀)
3. Mouth part (♀)
4. Palp (♂)
5. Trochanter (♀)
6. Pedicel (♀)
7. Onychium and claws (♀)
8. Epigynum (♀)

# 大宮町の真正蜘蛛類 (II)

貝 発 憲 治

## 1. はじめに

筆者は「しのびぐも第12号」誌上で「大宮町の真正クモ類」と題して、大宮町史（自然編）編さんのための自然調査の一環として行われた真正クモ類調査の結果から、その中間報告を目録記載を中心として行った。

この調査は、その後さらに四回6カ所にて実施され、1985年7月に終了した。同時に、三重昆虫談話会会長の大川親雄氏と三重県立相可高校の坂部元宏氏から多くの標本をいただいた。今回は、これらの結果をもとに、中間報告以後の目録記載と大宮町のクモ相の概観、注目すべき種についてまとめる。

多忙な御自身の調査にもかかわらず、クモ類の採集も並行して行って下さった、大川、坂部両氏に対して厚く感謝の意を表します。

## 2. 調査年月日・調査場所

(追加分)

黒坂	[ C3631-3424 ]	(5)	1985年7月6日
滝原宮A	[ C3625-3421 ]		1985年7月6日
滝原A	[ C3625-3422 ]		1985年7月6日
木屋A(2)	[ C3629-3420 ]		1985年7月24日
藤A	[ C3629-3421 ]		1985年7月25日
風穴	[ C3626-3419 ]		1985年7月26日

(大川氏分)

金輪	(1) 1984年10月14日	(2) 1984年10月28日	(3) 1984年11月18日
	(4) 1985年5月6日		
船木	(1) 1984年10月14日	(2) 1984年10月28日	(3) 1984年11月18日
	(4) 1985年4月28日		
木屋	(1) 1984年8月19日	(2) 1984年10月28日	(3) 1985年4月21日
	(4) 1985年8月18日		
打見	(1) 1985年4月28日	(2) 1985年5月6日	
藤B	(1) 1984年8月19日	(2) 1984年10月28日	(3) 1985年4月21日
	(4) 1985年5月26日	(5) 1985年6月16日	(6) 1985年9月8日
野添	(1) 1985年4月28日	(2) 1985年10月13日	
滝原宮B	(1) 1985年4月21日	(2) 1985年5月6日	(3) 1985年7月21日
	(4) 1985年11月8日		

- 大野原 (1) 1984年11月18日 (2) 1985年4月21日  
 古里 (1) 1984年8月19日 (2) 1984年10月14日 (3) 1984年11月18日  
 三瀬川 (1) 1984年10月28日 (2) 1985年4月28日  
 三軒屋 (1) 1984年11月18日 (2) 1985年4月28日  
 七保峠 (1) 1984年8月19日 (2) 1984年10月14日 (3) 1984年10月28日  
 (4) 1984年11月18日 (5) 1985年5月26日  
 野原 (1) 1984年10月28日 (2) 1985年4月28日 (3) 1985年5月6日  
 (4) 1985年6月16日  
 阿曾 (1) 1984年10月28日 (2) 1984年11月18日 (3) 1985年6月28日  
 藤坂峠 1985年7月28日  
 八ヶ野 1985年10月13日  
 黒坂 1985年7月18日  
 藤越 (1) 1985年8月18日 (2) 1985年8月28日 (3) 1985年11月8日  
 (4) 1985年10月13日

(坂部氏分)

- 滝原B (1) 1985年7月6日 (2) 1985年10月22日

### 3. 目 録

#### I. シグモ科

1. シグモ 滝原宮B(3) ♀A1

#### II. ウズグモ科

2. オウギグモ 滝原宮A Y1  
 3. マネキグモ 黒坂(5) ♀SA2. 滝原宮A ♀A2. 滝原宮B(3) ♀SA1  
 4. カタハリウズグモ 黒坂(5) ♀A1. 滝原宮A ♀A2  
 5. ウズグモ 滝原A ♀A1. 奥河内川上流 ♀A1

#### III. マシラグモ科

6. マシラグモ科sp. 黒坂(1) ♀A1

#### IV. ユウレイグモ科

7. ユウレイグモ 黒坂(5) ♀A2. 滝原宮A ♀A2  
 8. イエユウレイグモ 滝原A ♀Y1

#### V. ヒメグモ科

9. ヒメグモ 黒坂(5) ♀A2. 木屋A(2) ♀A1. ♂A2. 滝原宮A  
 ♂A1  
 10. コンピラヒメグモ 木屋(2) ♀A1  
 11. オオヒメグモ 黒坂(5) Y1. 野原新田 Y1. 滝原A Y1

- 滝原B(2) ♀A1. 滝原宮A ♀A1
12. アシプトヒメグモ 野添(1) Y1. 野原(2) Y1. 古里(3) ♂SA1.Y1  
 藤(2) ♂SA1. Y1. (3) ♀SA1. (4) ♀A3. ♂A2  
 木屋(3) Y1
13. オナガグモ 黒坂(5) ♂A1. 金輪(2) ♂SA1. 藤A Y2. 野原  
 ♂SA1. 藤越(4) Y1. 八ヶ野 ♂SA1
14. ホシミドリヒメグモ 三瀬川(2) Y1. 藤(2) ♂SA1. 木屋(3) Y1
15. サヤヒメグモ 黒坂(5) Y1
16. ヨロイヒメグモ 滝原宮A ♀A1
17. シロカネイソウロウグモ 滝原A ♀A1. 木屋(1) Y1
18. トビジロイソウロウグモ 黒坂(5) ♀A3. 木屋A(2) ♀A2. ♂A1
19. チリイソウロウグモ 野原新田 Y1. 藤A ♀A1. 木屋A(2) ♂A1  
 大野原(2) Y1
20. ヤリグモ 黒坂(5) ♀A1. ♀SA1. Y1. 滝原宮A ♀A1. 木屋A(2)  
 ♀A1. Y1. 藤A ♀A1. ♂SA1. Y1.
21. ボカシミジングモ 滝原A Y1
22. カニミジングモ 黒坂(1) ♀A1. (5) ♀A1. ♂SA1. 木屋A(2) Y1.  
 藤A Y1. 滝原宮A ♂SA1
23. ヒシガタグモ 木屋A(2) Y1
24. ツクネグモ 滝原宮B(3) ♀A1
25. クロマルイソウロウグモ 滝原宮A ♀A3. ♂A2
26. バラギヒメグモ 黒坂(5) ♀A1
27. ヒロハヒメグモ 黒坂(1) ♀A1. (5) ♀A1. 野原新田 ♀A1
28. ギボシヒメグモ 木屋A(2) ♀A2
29. ヨツコブヒメグモ 木屋(3) ♂SA1
30. ハイイロヒメグモ 黒坂(1) ♀A1

VI. ホラヒメグモ科

31. コホラヒメグモ 黒坂(1) ♂A1. (4) ♂A1. ♂SA2. 古里(2) ♂A1.  
 七保峠 ♀A1. ♀SA1. 三瀬川(1) ♀A1. ♂A1.  
 浅間山 ♀A1. 奥河内川上流 Y1
32. ヤマトホラヒメグモ 風穴 ♀A1

VII. サラグモ科

33. ヤマカワヤミサラグモ 黒天狗の穴 ♂A1. 藤A ♀A1
34. クスミサラグモ 木屋A(2) ♀SA1. 大野原(2) ♀A1. ♂A3. 木屋B(3)  
 ♀A1. ♂A1

35. フタスジサラグモ 木屋A(2) ♂ SA1  
 36. アシナガサラグモ 木屋A(2) Y1. 藤A ♀ SA1. 藤B(1) ♂ A1  
 37. ユノハマサラグモ 黒坂(5) Y1. 木屋A(2) Y1. 藤B(1) ♀ A1  
 38. クボミケシグモ 黒坂(4) ♀ A2  
 39. ヨツボシサラグモ 木屋A(2) Y1  
 40. ザラアカムネグモ 滝原宮A ♀ A2  
 41. ハラジロムナキグモ 野原新田 ♂ A1. 木屋A(2) ♀ A1. 藤A ♀ Y1  
 42. マダラナンキングモ 滝原宮B(1) ♀ A1. (2) ♀ A1  
 43. セスジアカムネグモ 黒坂(4) ♀ A1. 西出 ♀ A2  
 44. トウキョウアカムネグモ 黒坂(5) ♀ A1

VII. センショウグモ科

45. センショウグモ 木屋A(2) ♀ A1. 滝原宮A ♀ A1. ♂ A1. Y1

VIII. コガネグモ科

46. ハツリグモ 滝原滝原宮A ♀ A1  
 47. ヤマオニグモ 滝原宮A ♀ A1  
 48. オニグモ 滝原A ♀ A1  
 49. コゲチャオニグモ 木屋A(2) Y3. 奥河内川上流 Y2. 金輪(2) ♀ A1.  
 (3) Y1. 野原(1) Y1. 滝原宮B(4) ♀ A1. 木屋B(1)  
 ♀ A1  
 50. トガリオニグモ 黒坂(5) Y4. 木屋A(2) ♂ A1. ♀ SA1. 藤A Y1.  
 七保峠(3) ♂ A1  
 51. ムツボシオニグモ 三瀬川(1) Y2. 木屋B(3) ♀ A1. Y1. 船木(4) ♂ A1  
 52. ヌサオニグモ 黒坂(5) ♀ A1. 木屋A(2) ♀ A1. 木屋B(4) ♀ A1  
 53. マルツメオニグモ 木屋A(2) ♀ A4  
 54. ハラヒロミドリオニグモ 木屋A(2) ♀ A1  
 55. ヤミイロオニグモ 藤越(2) ♀ A1. 滝原宮B(1) ♀ A3. ♂ A1. (2) ♀ A1.  
 ♂ A3. 古里(2) ♂ SA1. 七保峠(3) ♂ SA1. 打見(1)  
 ♂ A1  
 56. ワキグロサツマノミダマシ 木屋A(2) ♀ SA1. 藤越(4) ♀ A1  
 57. イエオニグモ 滝原A ♀ A1  
 58. ヤマシロオニグモ 黒坂(5) ♂ A1. ♂ SA1. Y1. 木屋A(2) ♀ A1.  
 奥河内川上流 ♀ A1. 藤B(5) ♂ SA1  
 59. サツマノミダマシ 黒坂(5) ♀ A1. 藤B(5) Y1  
 60. スグロオニグモ 野原新田 ♀ A1  
 61. サガオニグモ 滝原宮B(3) ♀ A1

62. カラフトオニグモ 黒坂(5) ♀A1. 滝原宮A Y3. 木屋A(2) Y1.  
木屋B(2) Y1. 藤A Y2. 野原(1) ♂SA1. 大野原(2)  
♂SA1
63. コガネグモ 滝原A ♂A2. ♀SA1. 滝原B(1) ♀SA1.
64. ナガコガネグモ 黒坂(5) ♀A1
65. コガタコガネグモ 木屋A(2) ♂SA1
66. ヤマトカナエグモ 黒坂(5) ♀A1
67. カラスゴミグモ 三瀬川(1) ♀A5
68. ゴミグモ 古里(2) ♂SA1
69. ヨツデゴミグモ 木屋A(2) ♀A1. Y1. 西出 ♂A1. 七保峠(3) Y1
70. トリノフンダマシ 黒坂(5) Y1
71. オオトリノフンダマシ 木屋A(2) ♀SA1
72. アカイロトリノフンダマシ 黒坂(5) ♀A1. ♂A1. ♀SA1. Y1.  
木屋A(2) ♀A1
73. トゲグモ 滝原宮 ♀A1
74. コガネグモダマシ 野原(3) ♀A1. 三瀬川(1) ♀A1. 木屋B(1) Y1
75. タニマノドヨウグモ 藤A ♀A1
76. ジョロウグモ 滝原宮A ♀Y1. 滝原A ♀Y1. 金輪(2) ♀A1.  
船木(2) ♀A1. 藤越(4) ♀A1. 野添(2) ♀A1

#### X. カラカラグモ科

77. ヤマジグモ 黒坂(5) ♀A4. 野原新田 ♀A1. 木屋A(2) ♀A2.  
滝原宮A ♀A1
78. カラカラグモ 木屋A(2) ♀A1. 滝原宮A ♀A1. 藤A ♀A1

#### XI. アシナガグモ科

79. オオシロカネグモ 黒坂(5) ♀A1. 滝原宮A ♀A2. 藤A ♀A1. 黒坂  
♀A2. 藤越(1) ♀A1. 阿曾(1) ♀A1. 古里(1) ♀A1
80. コシロカネグモ 黒坂(5) ♀A1. 藤越(1) ♀A1. (4) ♀A1. 大野原(2)  
Y1. 滝原宮B(3) ♀A3
81. キララシロカネグモ 黒坂(5) ♂SA1. Y1. 藤越(2) ♀A1. 野原(2)  
Y3. 阿曾(1) ♀A1
82. ヤサガタアシナガグモ 黒坂(5) ♀A1. ♂A1. 滝原宮A ♀A1
83. キヌアシナガグモ 金輪(2) Y1
84. アシナガグモ 黒坂(5) Y2. 木屋A(2) ♀A1. Y1. 滝原A ♀A1.  
木屋B(1) Y1. 三軒屋(1) Y1. 藤B(1) ♀A2. ♂A2.  
Y1. (2) Y1. (3) Y2. (4) ♂A1. (5) Y5. 野原(1)

♂ SA1. 阿曾(1) Y1. 滝原宮B(2) Y1. 大野原(1)  
Y2. 船木(2) Y1. (4) Y1

85. ウロコアシナガグモ 黒坂(5) Y1. 阿曾(1) Y1. (3) Y1. 藤B(1) Y1  
木屋B(2) Y1. (3) Y2

XII. ヒラタグモ科

86. ヒラタグモ 滝原宮A Y1. 滝原A Y1. 黒坂(5) ♀ A1

XIII. タナグモ科

87. クサグモ 黒坂(5) ♀ Y1. 木屋A(2) ♂ SA1. 滝原A ♀ A1

88. コクサグモ 滝原宮A Y2. 船木(1)

89. カミガタヤチグモ 浅間山 ♀ A1. 三瀬川(2) ♀ A1. 古里(2) ♂ A1

XIV. ハタケグモ科

90. ハタケグモ 黒坂(4) ♀ A1

XV. キシダグモ科

91. スジプトハシリグモ 滝原A ♀ A1

92. アオグロハシリグモ 黒坂(5) Y2. 藤A ♀ SA1. Y1

93. スジアカハシリグモ 黒坂(5) ♀ A1. 滝原宮A ♀ A1. 滝原宮B(1)  
♀ Y1. 藤A ♀ SA1

94. イオウイロハシリグモ 黒坂(5) Y2. 滝原宮A ♂ A1. Y2. 木屋A(2)  
Y1. 金輪(4) Y1. 阿曾(1) Y1. (2) Y1. 木屋B(1)  
♂ A1. ♀ Y1. 三瀬川(1) Y1. (2) Y1. 滝原宮B(2)  
Y2. (3) Y3. (4) Y2. 七保峠(1) Y1. (3) ♀ A1.  
♀ SA1. (5) Y1. 黒坂- Y3. 藤B(2) Y1. (5) Y1.  
藤越(1) Y2. (3) Y2. (4) Y1. 野原(1) ♀ SA1.  
(2) ♀ SA3. Y6. (3) Y1. 船木(2) Y1. (4) Y4

XVI. コモリグモ科

95. ハリゲコモリグモ 黒坂(5) ♀ A1. 船木(4) Y1

96. クラークコモリグモ 黒坂(1) ♂ A1. 奥河内川上流 ♀ A1. 滝原A  
♂ A1

97. イモコモリグモ 西出 ♀ A1. ♂ A1

98. チビコモリグモ 黒坂(5) ♀ A1. 滝原宮A ♀ A4

99. キバラコモリグモ 滝原A ♂ SA1

XVII. ササグモ科

100. ササグモ 黒坂(5) ♂ A2. 七保峠(5) ♂ SA1. Y1. 打見(2)  
♂ SA2. ♀ SA2. 木屋B(1) Y1. (2) Y2. 阿曾(1)  
Y5. (2). Y2. 黒坂 ♀ SA1. 藤越(4) Y1. 藤B(3)

Y1. (4) Y3. (6) Y5. 野添(1) Y3. (2) Y3.  
 船木(2) Y2. (3) Y4. (4) Y1. 古里(2) Y3. (3)  
 Y1. 野原(2) Y4. (3) Y3. (4) ♂ A2. ♂ SA1.  
 金輪(1) Y2. (2) Y2. (4) Y2

XVIII. カニグモ科

101. コハナグモ. 黒坂(5) ♀ A1. 木屋A(2) ♀ A2. ♂ A1. 木屋B(3)  
 Y1. 藤B(4) Y1. 七保峠(1) ♀ A1. (5) ♀ A1. Y2  
 黒坂 ♀ A1. 滝原宮B(1) ♂ SA1. 八ヶ野 ♀ A1  
 野原(2) Y1. 三軒屋(2) Y1. 阿曾(3) Y1.  
 打見(1) Y1. 船木(2) Y1
102. ハナグモ 黒坂(5) Y2. 藤越(4) Y1. 阿曾(1) Y1. 藤B(1)  
 Y1. (4) Y1. 三瀬川(2) ♂ A1. 打見(2) Y1.  
 金輪(1) ♀ A1
103. キハダカニグモ 滝原宮A ♀ A1. ♂ SA1. 藤越(4) Y1
104. ワカバグモ 黒坂(5) ♀ A1. 木屋A(2) ♀ A1. Y1. 滝原宮A  
 ♀ Y1. Y2. 木屋B(2) ♂ SA1. (3) ♀ SA1.  
 古里(2) Y2. (3) ♂ SA1. 滝原宮(1) ♂ A1.  
 (2) Y1. (3) ♀ A1. 野原(1) Y1. (2) ♀ A2.  
 ♂ A2. 藤坂峠 Y1. 黒坂 ♀ A1. Y3. 藤越(1)  
 Y1. (4) Y1. 阿曾(1) Y1. 大野原(1) Y1.  
 藤B(1) Y1. (2) Y1. 七保峠(1) Y2. (3) ♂ SA1  
 (5) ♀ A1. 金輪(2) Y1. 船木(1) Y1. (3)  
 ♀ A1. ♂ SA2. (4) ♀ A1
105. アズチグモ 黒坂(5) ♂ A1. 七保峠(3) Y1
106. トラフカニグモ 木屋A(2) Y1. 金輪(4) ♀ A1. 藤越(4) ♀ SA1  
 木屋B(2) ♂ SA1
107. セマルトラフカニグモ 黒坂(5) ♀ A1. ♂ SA1. ♀ SA1. 藤B(1) ♀ A1  
 ♂ A1
108. ヤミイロカニグモ 黒坂(5) ♀ A1. 木屋A(2) Y1. 野原(2) ♀ A1.  
 阿曾(1) ♀ SA1. 滝原宮B(1) Y1. 藤B(3) ♀ SA1
109. オオヤミイロカニグモ 黒坂(4) ♀ A1

XIX. エビグモ科

110. アサヒエビグモ 滝原A ♀ A1. 藤B(2) Y1. (4) Y2. 木屋B(3)  
 Y1

XX. ハエトリグモ科

111. ネコハエトリ 黒坂(5) ♀A1. 金輪(2) ♀A1. ♀SA1. 黒坂 Y1. 木屋B(2) ♂SA1. (4) Y1. 藤越(1) Y1. (2) ♀A1. (3) Y1. (4) ♀SA1. 阿曾(1) ♀SA1. (2) Y1. (3) ♀Y1. 藤B(2) Y1. (6) Y2. 野添(1) Y1 船木(2) ♀A1. 七保峠(2) Y1. (4) Y2. (5) Y1 野原(3) ♂A2. ♀A1. (4) ♂A1. 三軒屋(1) ♀A1 打見(1) ♂A1. 大野原(1) Y1. 古里(2) ♀A2. (3) ♀SA1
112. マミジロハエトリ 黒坂(5) ♀A2. 木屋A(2) ♀Y1. 藤越(1) ♀A1 古里(1) Y1. 三瀬川(2) ♀A1. 木屋B(1) ♀A1. 野原(2) ♂A1. 打見(2) ♀A1. ♂A1七保峠(1) Y1. (5) ♀A1. ♂A1
113. ウデブトハエトリ 滝原官A ♂A1
114. デーニッツハエトリ 黒坂(5) ♀A1. 木屋A(2) ♀A1. 藤A ♀A1. 滝原官A ♀A1. 木屋B(2) ♀A2. 藤B(1) Y1. 滝原官B(1) ♀A4. ♂A3. (3) ♀Y1. (4) ♀A1. ♂SA1. 阿曾(1) ♂SA1. 藤越(4) ♀A1. 八ヶ野 ♀A2. 野添(1) ♀A1. 七保峠(3) ♂A1. Y1
115. メガネアサヒハエトリ 黒坂(5) ♂A2
116. マガネアサヒハエトリ 黒坂 Y1. 木屋B(1) Y2
117. チャイロアサヒハエトリ 黒坂(5) ♀A3. Y1. 黒坂 ♀A1
118. ヤハズハエトリ 金輪(1) ♀SA1. 木屋B(1) ♀A1
119. ヨダンハエトリ 野原新田 ♂SA1
120. シラヒゲハエトリ 滝原AY1
121. ヤサアリグモ 黒坂(5) ♀A2. 木屋A(2) ♀A1. 滝原官A ♀A1. ♂A1
122. アリグモ 三瀬川(2) Y1. 七保峠(5) ♂A1. 藤B(2) ♀SA1. 藤越(4) Y2. 野原(1) ♀SA1. 木屋B(3) ♀SA1
123. キアシハエトリ 黒坂(5) ♀A1. 木屋A(2) ♀A2
124. カラスハエトリ 滝原官A Y2. 木屋A(2) ♀A1. Y1. 木屋B(1) ♀SA1
125. ミスジハエトリ 滝原A ♀A2. ♂A1. 滝原(2) ♀A1
126. アメイロハエトリ 滝原官A ♀A1
127. ウススジハエトリ 黒坂(1) ♀A1. ♀SA1. 藤越(3) Y2
128. ジャバラハエトリ 滝原官A ♀A1. ♂A1. Y1. 藤B(1) Y1

129. ムツバハエトリ 滝原宮A ♀A2. ♂A1

XXI. フクログモ科

130. アシナガコマチグモ 滝原宮A ♀A1. 藤坂峠 ♀A1. 三軒屋(2)  
♀Y1. 三瀬川(2) Y1. 金輪(2) Y1

131. カバキコマチグモ 藤B(4) Y1

132. ヤサコマチグモ 黒坂(5) ♀A1. ♂A1. 滝原宮A ♀A1. ♂A2  
木屋A(2) ♂A1. 七保峠(2) Y1

133. コフトログモ 木屋A(2) ♀A3

134. ハマキフクログモ 黒坂(5) ♀A1

135. ヤハズフクログモ 黒坂(5) ♀A1. 滝原宮A ♂A1. Y1. 藤A ♀A1

136. イタチグモ 古里(1) Y1. 西出 ♂A1. 滝原宮A Y1

137. ウラシマグモ 古里(1) ♀SA1. Y2. 黒坂(1) ♀A1. 滝原B(2)  
♀SA1

138. ネコグモ 藤B(4) ♀A1

XXII. イズツグモ科

139. イズツグモ 七保峠(3) ♂A1

XXIII. アシダカグモ科

140. コアシダカグモ 黒坂(5) Y1. 木屋A(2) Y1. 滝原宮A Y2.  
藤A ♀Y1. 滝原B(2) ♀Y1

141. アシダカグモ 滝原A ♀Y1

XXIV. アワセグモ科

142. アワセグモ 木屋A(2) ♀SA2

XXV. シボグモ科

143. シボグモ 黒坂(5) ♀SA1

XXVI. ワシグモ科

144. メキリグモ 黒坂(4) ♀SA1

145. クロチャケムリグモ 黒坂(4) ♀SA1. 滝原B(1) ♀SA1

146. Drassyllus sp. 古里(1) ♂A1

4. クモ相の概観

前回の目録も合わせると、大宮町の真正蜘蛛類として、29科 114属 194種が記載された。これを科別に分類すると表Iのようになる。

総種数は、三重県既確認種数363種の53.4%にあたり、また、各科ごとの種数も表Iのごとく大部分が50%をうわまわっていることから、この地域に生息するクモ類の主要種は、ほぼ記載できたものと思われる。さらに、継続

科名	属数	種数 (1)	三重県既 確認種数 (2)	(1)/(2)×100 (%)	科名	属数	種数 (1)	三重県既 確認種数 (2)	(1)/(2)×100 (%)
カネコトタテグモ科	0	0	1	0	カラカラグモ科	2	2	2	100
トタテグモ科	1	1	2	50	アシナガグモ科	2	7	14	50
ジグモ科	1	1	2	50	ヒラタグモ科	1	1	1	100
ガクシグモ科	0	0	1	0	ホウシグモ科	0	0	1	0
ハグモ科	0	0	3	0	タナグモ科	2	4	15	27
ウズグモ科	3	4	5	80	ヘタケグモ科	1	1	1	100
チリグモ科	0	0	1	0	キシダグモ科	2	5	7	71
エンマグモ科	0	0	2	0	コモリグモ科	3	9	16	56
タマゴグモ科	1	1	3	33	ササグモ科	1	1	3	33
マシラグモ科	1	1	1	100	カニグモ科	7	10	18	56
ヤマシログモ科	0	0	3	0	エビグモ科	3	4	7	57
コウレイグモ科	1	2	4	50	ヘエトリグモ科	17	22	32	69
ヒメグモ科	15	33	50	66	フクログモ科	6	13	18	72
ホラヒメグモ科	1	2	4	50	イズツグモ科	1	1	2	50
サラグモ科	16	23	59	39	アソダカグモ科	1	2	4	50
センショウグモ科	2	2	3	66	アワセグモ科	1	1	1	100
ヨリメグモ科	1	1	1	100	シボグモ科	1	1	1	100
コツブグモ科	0	0	1	0	ワシグモ科	3	3	8	38
コガネグモ科	17	36	66	55	合計	114	194	363	53

表 I. 大宮町の真正蜘蛛類の科、属、種数一覧表

してじっくり観察しないと発見しにくい地上徘徊性のものや、地中、樹皮下、屋内生活のクモで普通種であるものがまだ20種以上確認できていないことや、現在精査中の未同定種が多くあることを考慮すると、最終的には大宮町の真正蜘蛛類は 250種近くになるものと思われ、一地域のクモ相としてはかなり豊富であることが予想される。しかし、年間を通じてシフティング法を多用したにもかかわらず、コサラグモ亜科やタナグモ科、ワシグモ科の採集個体数はあまり多くないという特徴もみられた。

次に、動物地理学的な面から分類すると、北方種は 9種、南方種は15種であった。これを、全種数に対する割合 (%) で表して検討すると、南方種の占める割合がきわめて大きく、それは、尾鷲地域のクモ相の割合をも上まわっており、逆に、北方種は随分小さい。大宮町は三重県の中南部に位置するが、黒潮おどる熊野灘に近く、温暖多雨な気候であることから、多くの南方種の生息を可能にしているものと思われる。

#### 5. 注目すべき種

- ・オダカグモとサヤヒメグモ：比較的珍しいクモとされるが、三重県では各地で記録されだした。雑草のスウィーピングで多く採れた。

- ・ヒシガタヒメグモ：腹部背面に二対のこぶ状突起をもつ南方系の珍しいクモで、愛知県以北では茨城県で一度採集記録があるだけである。野原の雑木林にて雌成体一頭が採集された。
- ・クロマルイソウロウグモ：滝原宮内のクサグモの網に雄 2頭、雌 3頭がいた。糸疣近くの一対の長白斑がよくめだつ。
- ・ホシヒメグモモドキ：モチつつじの枝葉間に30cm程の長さの粘球糸を数本不規則に張りめぐらし、糸上を上下していた。三重県では 8頭の採集記録がある。
- ・ヤマトホラヒメグモ：真洞窟性のクモで、この仲間は洞窟ごとに隔離による種の分化が著しい。奈良、和歌山にも分布している。不規則網上で子グモの乗った卵のうを糸疣につけて保護している個体があった。
- ・ヌサオニグモ：牟婁北区では、葉間に円網を張るこのクモが普通にみられるが、中北勢北区ではほとんどみられない。今回の調査でこの地区までは沢山生息していることが確められた。
- ・ススミグモ：野原のアカマツ林の横の雑木林に、大きなドーム網を張っていた。三重県ではアカマツ林を中心にかなり多くみられる。
- ・ムツトガイセキグモ：アカマツ林の横のモチツツジの葉裏に、体長 4mmの幼体があった。頭胸部と腹部に突起をもつ熱帯性の稀少種である。歩脚から粘球をつり下げ、それを振りまわして蛾類を捕えるナゲナワグモの仲間である。写真撮影後、ナゲナワ動作をみるために庭に放したところ、逃亡してしまった。
- ・キヌアシナガグモ：茶園のうねの間に四角形の網を沢山張っていた。頭胸部両側が銀色でよくめだつ。幼体は体色が随分と黒っぽい。
- ・シノビグモ：山間溪流の、湿気の多い川原の石間にじっと潜んでいるのでみつけにくい。今回、三重県六カ所目の記録として、奥河内川の源流で雌 1頭が確認された。個体数は少ないが、注意深く探せば、かなり多くの川原で発見されるものと思われる。
- ・フノジグモ：旧北区系のクモで、三重県では伊賀盆地を中心に多くの記録がある。今回、阿曾の西出にて 1頭採集された。
- ・ジャバラハエトリ：滝原宮を中心に 6頭採集された。
- ・ネオンハエトリの一種：体長約 4mmの微小なクモで、三重県四カ所目の記録である。

## 大川親雄氏のクモ標本同定結果 (II)

### 三重クモ談話会

昨年の夏に、三重昆虫談話会々長の大川親雄氏から再び沢山のクモの標本をいただいた。各地で昆虫調査をされるのと並行して、クモの採集もして下さるとのことです。なかなか他の分野の採集までは手がまわらないのが普通であることを思うと、本当にありがたいことです。御苦労に心から御礼申し上げます。今回、同定が完了したので、三重県の分布の参考資料とするため、ここに発表します。

(同定者：貝路憲治)

#### ○ 採集場所および採集年月日

- 上野市市部 (1) 16-K-84 (2) 7-X-84 (3) 21-X-84  
上野市依那古 (1) 3-V-85 (2) 2-VI-85 (3) 7-VII-85  
上野市花垣 (1) 2-VI-85 (2) 7-VII-85 (3) 15-VIII-85  
上野市中友生 15-VII-84  
上野市下友生 (1) 15-VII-84 (2) 16-K-84 (3) 7-X-84  
(4) 21-X-84  
上野市四十九町 (1) 15-VII-84 (2) 15-VIII-84 (3) 16-K-84  
(4) 7-X-84 (5) 21-X-84  
上野市杉の谷池 21-X-84  
名張市布生峠 25-K-83  
名張市上比奈知 13-V-84  
名張市長瀬 17-VII-85  
名張市水坂峠 (1) 23-X-83 (2) 18-XI-83 (3) 13-V-84  
名張市地藏峠 (1) 24-VII-83 (2) 23-X-83 (3) 13-XI-83  
(4) 13-V-84  
名張市比奈知上出 (1) 23-X-83 (2) 6-XI-83 (3) 13-XI-83  
(4) 17-VII-85  
一志郡美杉村うるし (1) 3-VI-84 (2) 21-VI-84 (3) 1-VII-84  
(4) 29-VII-84 (5) 12-VIII-84 (6) 7-X-84  
(7) 21-X-84  
一志郡美杉村下太郎生 19-VI-85  
鈴鹿郡関町会下 (1) 4-VIII-85 (2) 1-XI-85 (3) 15-XI-85  
神原 18-XI-84

○ 目 録

I. ウズグモ科

1. マネキグモ 花垣(3) ♀A1

II. ヒメグモ科

2. ヒメグモ 会下(3) ♀A1. うるし(3) ♀A2  
3. アシブトヒメグモ 中友生 ♀A2. 会下(2) ♀A1. 依那古(3) ♀A1  
(2) ♀A1. Y1. 四十九町(5) Y1. 下友生(3) Y1  
水坂峠(2) ♂SA1. (3) Y1. 地蔵峠(3) ♀A1. Y2  
うるし(3) ♀A1  
4. オナガグモ 会下(3) Y1  
5. ホシミドリヒメグモ 依那古(1) ♂A1. 水坂峠(2) Y2. 地蔵峠(2)  
Y2. (4) Y1  
6. チリイソウロウグモ 下友生(3) ♀SA1  
7. ヤリグモ 依那古(2) Y1  
8. ヒシガタグモ うるし(1) Y1. 長瀬 ♀A1  
9. パラギヒメグモ 水坂峠(1) Y1. 地蔵峠(4) ♀A1. Y1. 上出(3) Y2

III. サラグモ科

10. アシナガサラグモ 会下(3) ♀A1. 花垣(3) ♀A1  
11. シロブチサラグモ うるし(1) ♂A1  
12. ユノハマサラグモ 下友生(3) Y1. 地蔵峠(3) Y2  
13. ザラアカムネグモ うるし(3) ♀A1  
14. コトガリアカムネグモ 地蔵峠(3) ♀A1

IV. センショウグモ科

15. センショウグモ 中友生 ♀A1  
16. ハラビロセンショウグモ 下友生(4) Y1  
17. オオセンショウグモ 依那古(3) ♀A1. 花垣(1) ♀A1

V. コガネグモ科

18. オニグモ 水坂峠(2) Y1  
19. コグチャオニグモ 会下(2) ♀A1. ♂A1. (3) ♀A1. Y1. 花垣(3)  
Y1. 依那古(3) ♂SA1  
20. ムツボシオニグモ うるし(4) Y1. (5) Y1. (6) Y2. (1) ♀A1. ♂A1.  
♂SA1. 水坂峠(3) ♀SA2. 布生峠 ♂SA1.  
依那古(2) ♂A1. 上出(1) ♂SA1  
21. ヌサオニグモ うるし(5) ♀A1. 上出(1) Y1  
22. カラオニグモ うるし(1) ♀A4

23. ドヨウオニグモ うるし(3) ♂ SA1. Y1
24. ヤミイロオニグモ 依那古(1) ♀ A1. (2) ♀ A1. 水坂峠(3) ♀ A1.  
地蔵峠(3) ♂ SA2. (3) ♂ SA1. Y1
25. ヤマシロオニグモ 依那古(2) ♀ A1. 花垣(1) ♀ SA4. Y2
26. サツマノミダマシ うるし(5) ♀ SA1
27. シロスジショウジョウグモ 上出(3) Y1
28. チュウガタコガネグモ 依那古(3) ♀ A1. ♂ A1
29. ナガコガネグモ 花垣(3) ♀ SA1. ♂ A1. うるし(5) ♂ A1. 四十九町(1)  
Y1. (2) ♀ A1
30. コガタコガネグモ 会下(3) ♀ A1
31. ヤマトカナエグモ 依那古(3) ♀ A2. うるし(1) ♀ SA1. 花垣(1) ♀ A1
32. オオトリノフンダマシ 会下(1) ♀ A1. 四十九町(3) ♀ A1
33. シロオビトリノフンダマシ 会下(1) ♀ A2. 下友生(1) ♀ A1
34. クロトリノフンダマシ 四十九町(1) ♀ A1
35. アカイロトリノフンダマシ 会下(1) ♀ A1
36. コガネグモダマシ 花垣(1) ♀ A1
37. メガネトヨウグモ 地蔵峠(3) ♂ SA1
38. ジョロウグモ 会下(2) ♂ A1. Y1. (3) ♀ A1. ♂ A3. 花垣(3) ♀ SA3  
四十九町(4) ♀ A1

#### Ⅵ. アシナガグモ科

39. オオシロカネグモ 花垣(2) ♂ A4. 依那古(2) ♂ A2
40. コシロカネグモ 中友生 ♀ A4. 会下(1) ♀ A2. (2) ♀ A1. 依那古(1)  
♂ SA1. (2) ♀ A1. Y6. (3) ♀ A12. Y1. 花垣(1) ♀ A1.  
♂ A1. (3) ♀ A2. 地蔵峠(1) ♀ A1. 四十九町(1) ♀ A1
41. キララシロカネグモ 会下(3) ♀ A2. 上出(4) Y1. (1) Y1. 下友生(1)  
♀ A1. うるし(3) ♀ A4. ♂ A7
42. キンヨウグモ 水坂峠(1) ♂ A1. うるし(6) ♀ A1
43. ヤサガタアシナガグモ 中友生 ♂ A1. Y1
44. アシナガグモ うるし(1) ♀ A1. Y1. (4) ♀ A1. (5) ♀ A1. ♂ A1.  
(7) Y2. (6) Y1. 四十九町(1) Y3. (3) Y1. (5) Y2.  
松の谷池 Y1. 花垣(1) ♂ A1. 上出(1) Y3. (3) Y4.  
上比奈知 Y1. 水坂峠(1) Y1. (2) Y1. 下友生(2)  
♂ A1. Y4. (4) Y6. 市部(1) ♀ A1. ♂ A1. 地蔵峠(2)  
Y1. (3) Y2
45. ウロコアシナガグモ うるし(1) ♂ SA2. Y6. (3) ♂ A1. Y1. (6) Y1.

(7) Y6. 上出(1) Y1. (2) Y1. (3) Y6. (4) Y1.  
花垣(1) ♂A1. (3) Y1. 中友生 ♂A1. Y1. 依那古  
(2) Y1. 地蔵峠(2) Y2. (3) Y2. 上比奈知 Y1

VII. タナグモ科

46. コクサグモ 会下(3) ♀A2. 依那古(1) Y2

VIII. キシダグモ科

47. イオウイロハシリグモ うるし(5) Y2. (6) Y1. 上出(1) Y7. (3) Y1.  
中友生 Y5. 市部(1) Y2. (3) Y1. 依那古(2) Y1.  
下友生(1) Y1. 四十九町(1) Y2

48. アズマキシダグモ うるし(2) ♀A1. (3) ♀A1

IX. コモリグモ科

49. ハリグコモリグモ 上出(1) Y1

X. ササグモ科

50. クリチャササグモ 市部(1) Y2. (3) ♂SA3. Y4. うるし(6) Y11. (7)  
Y4. (1) ♂A6. 四十九町(3) Y1

51. ササグモ うるし(1) ♀SA1. Y2. (3) ♀SA2. (5) Y3. 上出(1)  
Y17. (2) Y5. (3) Y6. 神原 Y3. 四十九町(1) Y1.  
(3) Y8. (4) Y1. (5) Y2. 花垣(1) ♂SA1. Y6. (2)  
♀A1. ♀SA3. (3) Y1. 依那古(2) ♂A1. ♂SA3. Y2.  
(3) ♀A2. ♀SA1. 上比奈知 Y1. 会下(3) Y7.  
市部(3) Y1. 下友生(2) Y6. (3) Y1. (4) Y5

XI. カニグモ科

52. アシナガカニグモ うるし(1) ♂SA1. (3) ♀SA1. 上出(2) Y1

53. コハナグモ 依那古(2) Y1. (3) Y2. うるし(1) ♂A1. Y10. (2)  
♀A2. Y2. (3) ♂A7. Y15. (5) ♀A2. (7) Y1.  
花垣(1) Y1. (2) ♂A1. 下太郎生 ♀A1. ♂A1.  
上比奈知 Y1. 水坂峠(1) Y1. 布生峠 Y1. 上出(3)  
Y1. 地蔵峠(4) Y1

54. ハナグモ うるし(1) ♂A1. ♀SA2. Y4. (2) ♀A1. (5) Y1.  
(6) Y3. (7) Y2. 上出(1) ♂A1. ♂SA5. (2) Y2. (3)  
♂A2. Y1. 中友生 ♂A1. 下太郎生 ♀SA1. 会下(3)  
♂SA1. 上比奈知 ♂A1. Y1. 下友生(1) ♂A1. (2)  
Y3. (4) ♂A1. Y1. 市部(1) Y2. (3) Y3. 依那古(2)  
♂A1. 花垣(1) ♂SA1. (3) Y1. 四十九町(3) Y1.  
地蔵峠(4) Y1

55. ワカバグモ うるし(1) ♀A6. ♂A1. Y1. (2) Y2. (4) Y1. (5) Y3. (6) ♂SA3. Y4. (7) ♂SA1. Y7. 会下(2) ♀A1. Y2. (3) Y3. 上出(1) ♂SA1. (2) Y1. (3) ♂SA4. Y1 四十九町(3) Y8. (4) Y1. (5) ♂SA1. Y6. 市部(1) Y2. (2) Y3. (3) ♂SA1. Y2. 依那古(1) ♂A1. (2) Y1. 松の谷池 Y2. 下友生(4) ♂SA4. Y4. 水坂峠(1) Y4. (3) Y2. 長瀬 ♀A1. 花垣(1) ♀A2. Y1. (3) Y4. 布生峠 Y4. 地蔵峠(1) Y5. (2) Y2. (3) Y3
56. ガザミグモ うるし(1) ♀A2. ♂A2. (4) ♀A1
57. フノジグモ うるし(1) ♂A5. Y5. (2) ♂A1. (5) ♀A1. (7) ♀SA1. 依那古(2) ♂A1. 花垣(3) Y1
58. アマギエビスグモ 水坂峠(1) Y1. 地蔵峠(2) Y1. (3) Y1
59. アズチグモ 花垣(2) Y1
60. トラフカニグモ うるし(1) ♀A1. ♂A1. 水坂峠(2) ♂SA1. (3) Y1
61. セマルトラフカニグモ 依那古(2) Y1. (3) ♂SA1. Y2. 下友生(1) Y1. 中友生 Y1. 花垣(2) ♂SA1. 地蔵峠(1) ♂A1
62. ヤミイロカニグモ 上出(2) ♂SA1. (3) Y1. うるし(2) Y1. 市部(1) Y1. 神原 Y1. 水坂峠(1) Y1. 地蔵峠(1) ♀A1.

### XII. エビグモ科

63. アサヒエビグモ うるし(1) ♂SA1. Y6. (2) ♀A1. ♂SA1. Y1. (3) ♀A6. ♂A10. Y2. (5) ♀A1. (6) Y1. 上比奈知 Y2 会下(1) ♀A1. 花垣(2) ♀A2. 水坂峠(2) Y1. (3) Y2. 地蔵峠(3) Y4. (4) Y1. 依那古(2) Y1. 長瀬 ♀A1 会下(3) Y1. 依那古(2) ♀A1. 四十九町(1) ♀A1
64. シャコグモ
65. ヤマトヤドカリグモ 上出(1) ♂A1

### XIII. ハエトリグモ科

66. ネコハエトリ うるし(1) ♀A3. ♂A1. (3) ♀A2. (6) ♂A1. Y2. (7) Y3. 上比奈知 ♀A3. 会下(3) ♀SA2. 花垣(2) ♀A2. 水坂峠(1) ♀SA1. Y1. (2) ♂SA1. Y1. 市部(1) Y1. (3) ♀SA2. 上出(1) Y3. 地蔵峠(2) Y1. 依那古(2) Y1. 下友生(1) ♀A2. (4) ♀A1
67. マミジロハエトリ 市部(1) Y1. 花垣(1) ♀A1. 下友生(2) Y2
68. ウデブトハエトリ うるし(3) ♀SA1
69. デーニッツハエトリ うるし(7) Y1. 会下(2) Y2. (3) ♀A2. 依那古(1) ♂A1. (2) ♀SA1. 花垣(3) Y1. 布生峠 ♂A1.

四十九町(1) Y1. (4) ♀ A1. 地藏峠(2) ♂ A1.  
 (3) ♂ A1. 上出(2) ♀ A1. Y1. (4) Y1. (1) ♂ A1.  
 長瀬 Y1

70. チャイロアサヒハエトリ 依那古(2) Y1. (3) ♀ A4. 水坂峠(3) Y1.  
 上比奈知 Y1
71. マガネアサヒハエトリ うるし(1) ♀ A1. (3) ♀ A1. 花垣(1) Y1
72. ヤハズハエトリ うるし(1) ♂ A1. (3) ♂ A2. Y1. (5) ♂ A1. 花垣(1)  
 ♂ A1. 四十九町(1) ♀ SA1. (3) ♂ A1
73. オスクロハエトリ 会下(3) ♀ A1. うるし(1) ♀ Y2. (2) Y1. 上出(2)  
 ♀ A2. (3) ♀ SA1. 四十九町(3) Y2. 水坂峠(2)  
 Y1. 地藏峠(1) ♀ SA1. 下友生(4) ♀ A1
74. ヨダンハエトリ 花垣(1) Y1
75. ヤサアリグモ 依那古(3) Y1
76. アリグモ 下友生(2) Y2
77. アオオビハエトリ 会下(3) ♀ A1
78. ウススジハエトリ うるし(1) ♀ A1. 花垣(3) Y1

XIV. フクログモ科

79. アシナガコマチグモ 市部(2) Y1. 松の谷池 Y1
80. カバキコマチグモ うるし(3) ♀ SA1
81. コフクログモ うるし(3) ♀ A1
82. トビイロフクログモ 花垣(1) ♀ A1
83. ムナアカフクログモ 会下(1) ♀ A1
84. ネコグモ うるし(7) Y1. 水坂峠(2) ♂ SA1

## 昭和61年度三重クモ談話会採集会報告

期 日 昭和61年 5月 3日  
場 所 三重県北勢町川原〔C3631-3513〕  
参加者 太田定浩・須賀英文・緒方清人・貝発憲治

### ○ 養老山地一帯の採集会に参加して (緒方清人)

1986年 5月 3日、朝 4時に眼が覚めました。合憎の小雨です。しばらくして、貝発先生より、「雨ですけど採集会はどうされますか?。」と電話をいただきました。私は、4月11日に採集会の案内葉書きをいただいた時から、すっかり出席する気でおりました。去年は一度も参加していないので、今年こそは……と心に決めていたのです。ですから、「皆様にお会いできるだけでいいです。」と、返事しました。

集合場所の近鉄北勢線、阿下喜駅に向けて車を走らせたのが 6時40分でした。車のワイパーをまわしながら、「雨よ止め。」、そんな気持ちがいっぱいでした。

阿下喜駅に到着したのが 8時20分、しばらくして須賀先生が自家用車で来られました。太田先生と貝発先生は電車でそろって来られました。これで、今回の採集会の参加者が全員そろいました。なんだか、私のために行われたような気がして、皆様に申し訳なく思いました。

私の車一台に合乗りし、いよいよ目的地の北勢町養老山地に向けて出発しました。車中でも話は弾み、太田先生と貝発先生は、窓から流れる風景を説明して下さいました。北勢町川原を通り抜け、町屋川の上流へと車を走らせました。「この辺一帯は何回となくクモの調査に来ました。」と、須賀先生。あまりにも地理の詳しさに一同驚いてしまいました。ここは、須賀先生のフィールドだったのです。

美しい溪谷の杉の梢より、オオルリがさえずっています。でも、雨は止みそうにもありません。雨具を着て、クモの多く生息しそうな場所を適当に選び、溪流に沿って左右の杉林や植物の中より採集しました。美しいホシミドリヒメグモの雌雄が同時に採集されましたし、ユノハマサラグモは普通に観ることができました。太田先生、貝発先生はビーティングやシフティングに余念がありません。でも、「雨降りにはクモが少ない。」というのが全員の意見です。

車の中で昼食を済ませ、またまたクモの話に花が咲きました。時間のたつのをつい忘れてしまいます。雨はさきほどから一層強くなったようです。でも心

の中は随々として、帰路に着きました。

○ 採 集 結 果

(同定者：貝發憲治)

- I. ウズグモ科
1. マネキグモ Y1
  2. カタハリウズグモ ♂ SA1
- II. ヒメグモ科
3. フタオイソウロウグモ Y1
  4. ヤリグモ ♀ SA1
  5. バラギヒメグモ ♂ SA1. Y1
- III. サラグモ科
6. デーニッツサラグモ ♀ A1
  7. チビサラグモ Y1
  8. クスミサラグモ ♀ A1. ♂ A2
  9. ツリサラグモ ♂ SA1
  10. ユノハマサラグモ ♂ A1
  - サラグモ科 sp. Y1
- IV. コガネグモ科
11. オニグモ Y1
  12. ムツボシオニグモ Y1
  13. ヤミイロオニグモ ♀ A1
  14. シロスジシヨウジヨウグモ Y1
  15. サガオニグモ ♀ A1
  16. ヨツデゴミグモ ♀ SA1
- V. アシナガグモ科
- シロカネグモ属 sp. Y1
- VI. タナグモ科
- クサグモ属 sp. Y1
  - ナミハグモ属 sp. Y1
- VII. キシダグモ科
17. イオウイロハシリグモ Y1
- VIII. コモリグモ科
18. クラークコモリグモ Y1
- IX. カニグモ科
19. ヤミイロカニグモ ♀ SA1

X. エビグモ科

20. アサヒエビグモ

Y1

XI. フクログモ科

21. コフクログモ

♀A1

強い雨の中でほとんど採集はできなかつたが、以上、  
11科21属21種+ 5種のクモが確認できた。

編 集 後 記

セミの声もジージーとやかましいアブラゼミからツクツクボウシに変わり、暑さも一段落してきました。前号でお知らせしましたように、本年度より機関誌発行は9月になりました。前回の発行から4カ月しかたっており、はたして原稿が集まるのか大変心配しましたが、滞りなく発行できました。これも会員の皆様の御協力のたまものです。どうもありがとうございました。ただ、相変わらず目録が多くて、あまり読みごたえのある内容にはなっておりません。普段からクモに関することをこまめに記録をし、来年度はいろいろ面白い内容の原稿が寄せられることを期待します。

しのびぐも 第14号 1986

昭和61年8月31日印刷

昭和61年9月7日発行

編集者 太田定浩・橋本理市・貝発憲治

発行者 太田定浩

発行所 三重クモ談話会

(本部) 〒510 三重県四日市市前田町23-3

太田定浩 方

(事務局) 〒515 三重県松阪市久保町1843の157

貝発憲治 方